

論文・レポート作成に役立つ
情報の探し方

2012年度
附属図書館ガイドンス

Yokohama National University Library

論文・レポート何から始める？

- 1 「自分のテーマ」を決めるための情報収集
 - キーワードを集める
 - 概要・背景を調べる
 - 対象分野の研究状況を把握する
- 2 「自分のテーマ」が決定したら、テーマに関連する資料、論文を集める

＜情報収集＞どんな方法で調べますか？

- とりあえずインターネットで検索してみる
検索エンジン・ウィキペディア・無料ニュースサイト
- 教科書・ノートを読み返す
- 本、論文をさがす
- 新聞記事

こんな時に役立つ＜学術的に信頼できる＞
3つの情報ツールをご紹介します

- I Japan knowledge+
- II 聞蔵Ⅱ（新聞記事検索）
- III 統計・白書資料

＜学術的に信頼できる＞

- 執筆者が明確
- 情報源の出典が明記
- 内容が固定（修正や削除されない）

I Japan Knowledge +

- 辞書・事典類の統合データベース
- 20種類以上のコンテンツをまとめて検索できる
- 会社四季報や週刊エコノミストが見られる
- Googleでは検索できません
- 学内同時アクセス2
- VPN接続不可(学外からの利用不可)

Japan Knowledge+ どんな時に使えるか

1. キーワードを見つける
2. 概要・通説を知らべる
3. 自分のテーマと関係のある他の情報との関係を知る
4. 就職活動





活用事例1

- 外食産業に関する領域で、「原材料などの輸入物がどのように関わっているか」についての記述がある項目や記事を探したい。
→ 外食産業 輸入で検索

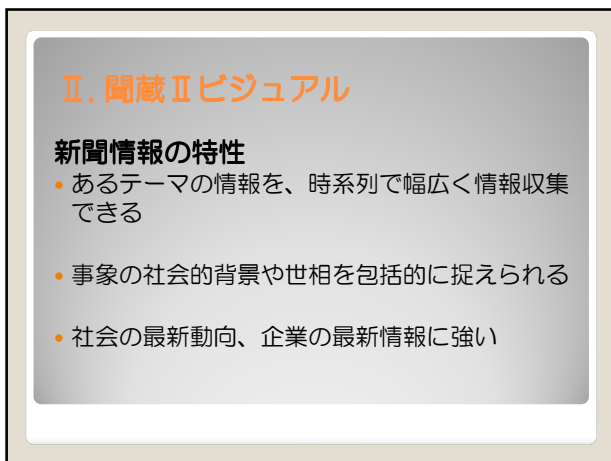
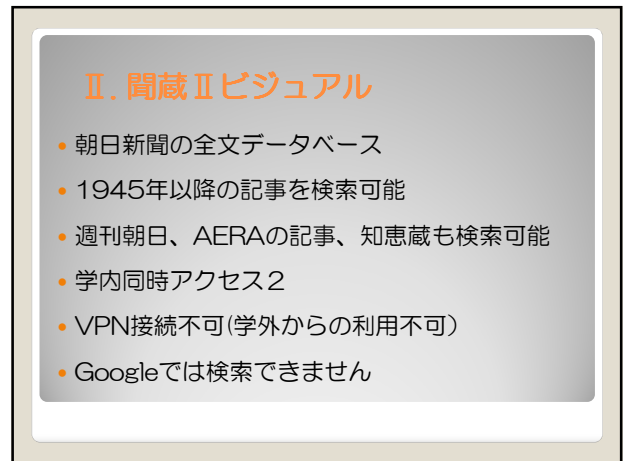
見出し検索 0件 → 全文検索

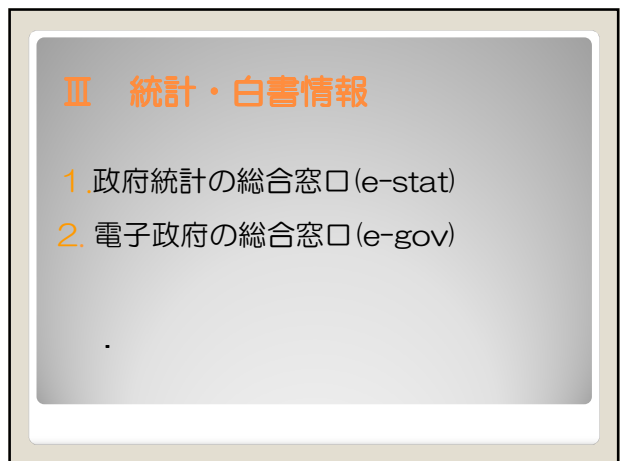
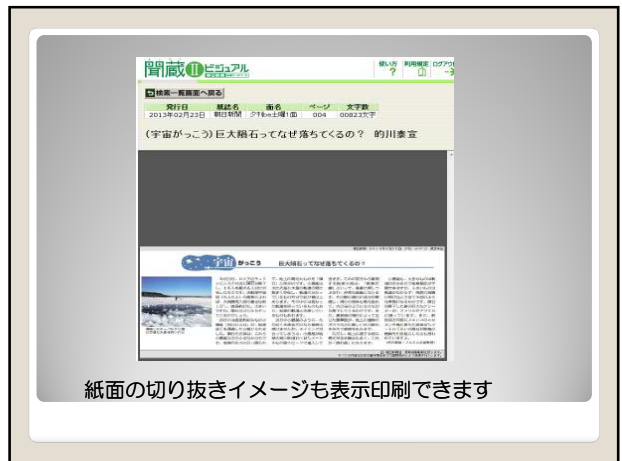
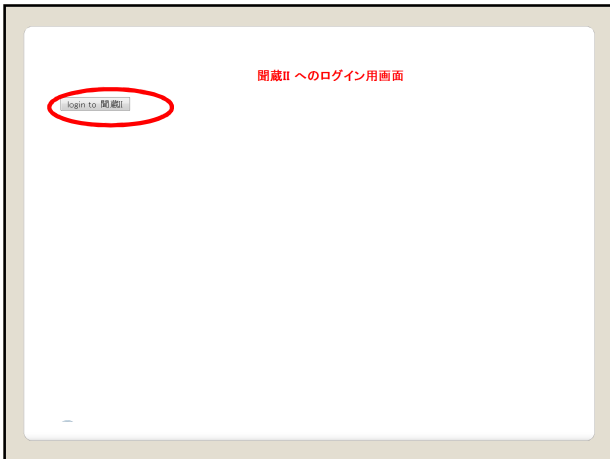
全文検索をかけると関連項目・記事が見つかります

活用事例2

- 南米の歴史で、日本と関係のある事象を調べたい
→ キーワードが見つからない

『日本大百科全書』の個別検索







Ⅲ 統計資料

1 政府統計の総合窓口(e-stat)

- 各府省が公表する統計データを一つにまとめ、統計データの検索をはじめとした、さまざまな機能を備えた政府統計のポータルサイトです。
- 知りたい統計データを簡単に検索して、パソコンにダウンロードできるほか、データベース化されたデータを使って人口ピラミッドなどのグラフを作成する機能、統計データを地図上に表示する機能など、ユーザーのニーズの高い機能を数多く備えた便利なサイトです。

課題

- 大学生の就職率を調べる



Ⅲ 統計資料 2. 電子政府の総合窓口 (e-Gov)



- 日本政府のポータルサイト
- 白書など無料公開されている

例題

- 「日本人の海外留学について」
- ⇒ 『文部科学白書』



文部科学白書を見る



文部科学白書を見る



文部科学白書を見る

©日本大学財団附属横浜国立大学

1. 海外留学帰国者

各都道府県の統計により、平成14年に帰国した日本人は、約5万人です。留学先別に見ると、その内訳が次の通りです。

図表1-4 日本から海外への留学帰国者数



図表1-5 主な留学先、留学帰国者数(2002年)

留学先	帰国者数
アメリカ	15,000
ヨーロッパ	12,000
アジア	10,000
オーストラリア	8,000
南米	5,000
中東	3,000
その他	2,000
合計	55,000

大学生生活に役立つ 3つの情報ツール

- I Japan knowledge+
- II 聞蔵Ⅱ（新聞記事検索）
- III 統計・白書資料

レポート・論文作成に活用しましょう！

論文・レポート作成に役立つ 情報の探し方

おわり

2012年度
附属図書館ガイド

Yokohama National University Library